

君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	AHCL（Advanced Hybrid Closed Loop）における1型・膵性糖尿病 治療満足度の検討 （研究倫理委員会承認番号：748）
当院の研究責任者 （所属）	伊藤 千穂 （看護局）
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	
本研究の目的	糖尿病治療は、薬剤のみならず医療機器の進歩により、個々の患者さまの病態に合わせたより適切な治療選択が求められています。これまでインスリンペン型注入器によるインスリン自己注射のみが行われていましたが、持続皮下インスリン注入（continuous subcutaneous insulin infusion：CSII）療法により皮下間質液中にインスリンを24時間継続して注射する治療を選択できるようになりました。そして、さらなる進歩により、リアルタイムに糖を測定するセンサー（real time Continuous Glucose Monitoring：rtCGM）との併用で、基礎インスリンの自動調整と自動補正注入を組み合わせた最新型のインスリンポンプ（Advanced Hybrid Closed-Loop Insulin Delivery：AHCL）が使用可能となりました。本研究では1型糖尿病および膵性糖尿病の患者さまにおいてAHCLを使用することで治療満足度がどのように変化するか明らかにすることを目的としています。
調査データの 該当期間	令和5年12月1日から令和6年3月31日まで

<p>研究の方法 (対象となる方)</p>	<p>君津中央病院の外来を受診した1型糖尿病および膵性糖尿病患者さま でAHCLにアップデートした方</p>
<p>研究の方法 (使用する情報)</p>	<p>AHCLへのアップデート前後にアンケート調査を行い、糖尿病治療満足度の変化を観察する。あわせて有効性、安全性を評価する目的で通常診療下で取得しうる検査データ(身長、体重、血圧、血液・尿検査、ポンプデータ等)を用いて比較を行う。</p> <p>アンケート内容：満足度を5段階に分け評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. あなたの現在の治療方法にどの程度満足していますか？ 2. 現在のインスリンポンプを使用することで治療満足度は変わりましたか？ 3. 現在のインスリンポンプを使用することで血糖コントロールは改善していると感じますか。 4. 現在のインスリンポンプを使用する前と比較し、血糖値が望ましくないほど高いと感じたことが増えましたか？ 5. 現在のインスリンポンプを使用する前と比較し、血糖値が望ましくないほど低いと感じたことが増えましたか？ 6. 現在のインスリンポンプはあなたにとってどの程度便利なものだと感じていますか？ 7. 現在のインスリンポンプを使用してあなた自身の糖尿病についての理解度にどの程度影響していますか？ 8. 現在のインスリンポンプをあなたと同じ糖尿病を持つ人に勧めますか？ 9. 現在のインスリンポンプを使用して良かった点を教えてください。 10.現在のインスリンポンプを使用して悪かった点を教えてください
<p>資料・情報の他機関 への提供</p>	<p>本研究の成果は、試験担当者である伊藤らによってまとめられ、令和5年度以降に開催予定の糖尿病に関連する学会で公表される予定である。また同年度内を目処に学術雑誌に公表する予定である。</p>

個人情報の取扱い	試験実施に係る生データを取扱う際は、被験者の秘密保護に十分配慮する。試験の結果を公表する際は、被験者を特定できる情報を含まないようにする。試験の目的以外に、試験で得られた被験者のデータは使用しない。あらかじめ被験者の同意を得ずに、個人情報を取り扱わない
本研究の資金源 (利益相反)	本研究を行うために必要な研究費用は、アンケート調査および日常診療で得られたデータを収集するのみであるため生じない。
お問い合わせ先	君津中央病院 伊藤 千穂 (看護局) TEL : 0438-36-1071
備考	